

市町村名	国頭村							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	やんばるの森拠点施設活用推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備			
担当部課名	経済課	事業実施 年度	平成 29	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所		
事業内容	やんばる国立公園指定に伴い、国頭村森林公園をやんばるの森の拠点施設として活用するため、公園のニーズ及び課題を調査し、管理運営の手法等を検討する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計		
	A. 予算現額	5,400				5,400		
	B. 執行済額	5,314				5,314		
	うち 交付金充当額	4,250				4,250		
	執行率(%) (B/A)	98.4%				98.4%		
執行状況の説明	・執行率は98.4%であり、計画的に執行できた。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	顧客ニーズの把握	目標	顧客ニーズを把握する	-	-	-	-	
		実績	顧客ニーズを把握した	-	-	-	-	
	施設の課題調査	目標	課題調査を実施する	-	-	-	-	
		実績	課題調査を実施した	-	-	-	-	
	施設の管理運営方法の提案	目標	運営方法を提案する	-	-	-	-	
		実績	運営方法の提案した	-	-	-	-	
	今後の施設整備の概略予算の算定	目標	概略予算を算定する	-	-	-	-	
		実績	概略予算の算定をした	-	-	-	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	施設の現状、課題の把握	目標	現状、課題を把握する	-	-	-	-	
		実績	現状、課題を把握した	-	-	-	-	
	ニーズを把握し、施設の管理運営方針の策定	目標	策定する	-	-	-	-	
		実績	策定した	-	-	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度 目標/発現年度
	国頭村森林公園の来場者数	目標	21,000	22,000	23,000	24,317人以上	24,317人以上
		実績	19,965	17,203	6,361	8,030	8,030
		目標					
		実績					
状況説明	<p>【R2年度】 ・来場者数は6,361人となり目標を下回っている。</p> <p>【R2年度】 ・来場者数は6,361人となり目標を下回っている。</p> <p>【R3年度】 ・来場者数は8,030人となり目標を下回っている。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・パンフレット更新の実施や、施設(おもちゃ美術館)のプロモーションビデオを作成しホームページ、道の駅にて放映を行い周知を図ったが、来場者数が目標に達しなかった。</p> <p>【R2年度】 ・森林公園HPを多言語化・予約システムなど対応可能に一新し、おもちゃ美術館及び一部宿泊施設にWi-Fiの設置等を行うなど更なる周知・環境整備を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により長期間の休館対応を行ったことから、来場者数の目標に達しなかった。</p> <p>【R3年度】 前年度に一新したHP(多言語、予約システム)の運用、各施設修繕等の環境整備を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館などの影響から来場者数の目標に達しなかった。</p>			<p>【R1年度】 ・集客にはこれまで以上の認知度向上等が必要なため、H30年度同様にパンフレット配布方法や作成したプロモーションビデオ放映を行いつつ、他事業等を活用するなどこれまで以上に周知がなされるよう方法の検討、実施する必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながらの運営となるため、利用者が安心して利用できる環境づくりが必要となる。また、周知についてもHPを有効活用する等、利用者の増加に向けた方法を検討し取り組みを実施する必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・今後も新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながらの運営となるが、将来的なアフターコロナ後の利用者増加に向けた取り組みも必要となる。そのため、令和4年度より変更となった新指定管理者との連携(管理者が独自で展開しているネットワークの活用)による利用者増加に向けた誘客の検討・実施及び施設の環境整備を図る必要がある。</p>				
<b>今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)</b>							
<p>【R1年度】 ・引き続き老朽化施設の修繕を計画的に行い、安全な施設環境の維持管理に努める。また、周知においてもH30年度に行った取り組みを引き続き行いつつ、木材普及活動(木育キャラバン)等を活用し観光客のみならず県民にも周知し、これまで以上に施設の魅力発信や認知度向上に取り組む。</p> <p>【R2年度】 ・今後も老朽化している施設の計画的な修繕や新型コロナウイルス感染症蔓延防止の環境整備など適切な管理、運営に努める。また、誘客に向けた周知については、一新したHPを活用し旅行予約サイト等への掲載(予約システムへの繋ぎこみ)や、観光協会等団体HPへの連携など認知度向上に取り組む、利用者の増加、満足度の向上に取り組む。</p> <p>【R3年度】 ・老朽化による施設整備に取り組むが、大掛かりな修繕が必要となっている施設については他補助金などの活用を検討し環境整備に努める。また、新指定管理者と連携しおもちゃ美術館、宿泊施設等の利用者増加に向け、各分野ごとに誘客に向けた事業展開(おもちゃ芸員の養成、キャンプイベントの開催)などを実施し、受け入れ態勢の強化、認知度の向上に取り組む利用者増加を目指す。</p>							

市町村名		国頭村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	奥区地域づくり計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ 交流と共創による農山漁村の活性化		
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 年度	平成 27	~ 平成 29	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	年間を通じて奥地区ならではの自然や文化を活かしたツアープログラムを実施するため、具体的手法の確立及び実施体制の構築を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	9,600	20,258	9,558		39,416	
	B. 執行済額	7,549	19,796	8,921		36,266	
	うち 交付金充当額	6,039	15,837	7,136		29,012	
	執行率(%) (B/A)	78.6%	97.7%	93.3%		92.0%	
執行状況の説明	・最終的な執行率は92.0%であったが、不用額は入札残が影響したものであり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	資源調査の実施	目標	3回	-	-	-	-
		実績	3回	-	-	-	-
	振興手法の検討	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	活動目標・取組内容設定	-	-	-	-
	人づくり計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	区民の体制づくり	-	-	-	-
	社会実験の計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	ツアープログラムの決定	-	-	-	-
	資援ハード計画の作成	目標	地域づくり計画の検討	-	-	-	-
		実績	移植先の決定	-	-	-	-
	住民ワークショップの開催	目標	4回	-	-	-	-
		実績	4回	-	-	-	-
コイの移植先水路測量設計の実施	目標	測量設計の実施	-	-	-	-	
	実績	測量設計報告完了	-	-	-	-	

	「地域づくりゆんたく会」の開催(3回)	目 標	—	3回	—	—	—
		実 績	—	5回	—	—	—
	ツアープログラムの社会実験(1回)	目 標	—	1回	—	—	—
		実 績	—	1回	—	—	—
	「コイ」の移植施設整備工事実施	目 標	—	工事実施	—	—	—
		実 績	—	工事実施	—	—	—
	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)	目 標	—	—	4回	—	—
		実 績	—	—	4回	—	—
	事業の具体化に向けた取組	目 標	—	—	具体化に向けた取組	—	—
		実 績	—	—	具体化に向けた取組 ・イベント3回 ・食に関する専門的研修 (試作会・ゆんたく会・講演会)	—	—
	3か年の事業を通じて得られた地域づくりにおける課題等を整理	目 標	—	—	課題等の整理	—	—
		実 績	—	—	課題等の整理 ・報告書及び地域づくりの手引き作成	—	—
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	地域づくり計画策定 (実績)地域づくり計画書策定により、自然環境を活かした地域づくりのモデル的な取り組みが期待され、地域の一体感が期待される。	目 標	地域づくり計画策定	—	—	—	—
		実 績	地域づくり計画策定	—	—	—	—
	コイの移植先水路工事にに向けた設計の完了 (実績)地域との話し合いの中で、移植先の場所変更に伴った設計で完了する。	目 標	設計完了	—	—	—	—
		実 績	設計完了	—	—	—	—
	社会実験の実施による報告書の作成	目 標	—	報告書の作成	—	—	—
		実 績	—	報告書の作成	—	—	—
	「コイ」の移植施設整備工事の完了	目 標	—	工事の完了	—	—	—
		実 績	—	工事の完了	—	—	—
	「地域づくりゆんたく会」の開催(4回)	目 標	—	—	4回	—	—
		実 績	—	—	4回	—	—
	ツアープログラムメニューの開発	目 標	—	—	メニュー開発	—	—
		実 績	—	—	メニュー開発 (4メニュー)	—	—

## 事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度 目標/発現年度
	イベント・ツアーへの参加者数	目標	30人	70人	150人	272人	272人以上
	実績	21人	0人	0人	0人		
	目標						
	実績						
状況説明	<p>【R1年度】 ・イベント・ツアーの開催は無く参加者は0人である。</p> <p>【R2年度】 ・イベント・ツアーの開催は無く参加者は0人である。</p> <p>【R3年度】 ・新型コロナウイルスの影響もあり、イベント・ツアーの開催は無く参加者は0人である。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R1年度】 ・イベント・ツアーの開催に向けて関係者と調整していたが、調整途中で地域のリーダーが不在となり、イベント・ツアー開催に向けた気運が高まらず、イベント・ツアー自体が開催されなかった。</p> <p>【R2年度】 ・前年度より引き続き、地域のリーダーが不在であった事や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント・ツアー自体が開催されなかった。</p> <p>【R3年度】 ・「緊急事態宣言」及び「まん延防止重点措置」の発令等の影響もありイベント・ツアーが開催されなかった。</p>			<p>【R1年度】 ・地域のリーダー発掘や地域住民の気運醸成に向けた取り組みが必要である。</p> <p>【R2年度】 ・地域のリーダー不在が長引いていたが、2月に新リーダーが決定し区の体制の立て直しを図りながら、コロナ禍でのイベント・ツアー実施の方法について検討する必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・コロナ過においても、感染対策をした上で、地域住民同士の話し合いや連携がとれるよう、地域リーダーを中心に取り組む必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R1年度】 ・早急に地域住民の気運醸成に向けた話し合いの機会を持つことや、関係機関でイベント・ツアー開催に向けた具体的な取り組み(内容、スケジュール、役割分担等)について協議し、令和2年度中にイベント・ツアーを開催する。</p> <p>【R2年度】 ・早急に地域住民の話し合いの機会を持つことや、関係機関でコロナ禍でも実施可能なイベント・ツアー開催に向けた具体的な取り組み(内容、スケジュール、役割分担等)について前年度に引き続き協議し、目標達成に向けて新しい体制を整え取り組みを実行していく。</p> <p>【R3年度】 ・ワクチン接種や感染症対策を行ったうえで、コロナ過でも可能なイベントやツアー、体験プログラム等を実施する。</p>							